

E-BOOK CATALOG



電子書籍 総合図書目録

전자책 종합 도서 목록
電子書籍総合图书目录
電子書籍總合圖書目錄

2021



六花出版

Rikka Press 릿카 출판

目次

3 各教派・教会史

増野悦興研究——埋もれたキリスト者の生涯と思想

刑法・刑事法

治安維持法の「現場」[治安維持法の歴史Ⅰ]

司法・訴訟手続法

監獄のなかの子どもたち

——児童福祉史としての特別幼年監、感化教育、そして「携帯乳児」

社会福祉

アクティブラーニングで学ぶ震災・復興学

——放射線・原発・震災そして復興への道

東日本大震災と被災・避難の生活記録

東日本大震災と〈復興〉の生活記録

東日本大震災と〈自立・支援〉の生活記録

教育学・教育思想

戦後日本の道徳教育の成立

——修身科の廃止から「道徳」の特設まで

4 教育史・事情

教育史研究の最前線Ⅱ——創立60周年記念

総力戦体制下の〈教育科学研究会〉

——生活教育とカリキュラムの再編成

占領下沖縄の学校教育

——沖縄の社会科成立過程にみる教育制度・教科書・教育課程

教育政策・教育制度・教育行財政

戦後教員養成改革と「教養教育」

学校経営・管理・学校保健

男女共学の成立——受容の多様性とジェンダー

「女教員」と「母性」

——近代日本における〈職業と家庭の両立〉問題

戦後女性教員史

——日教組婦人部の労働権確立運動と産休・育休の制度化過程

「伊勢参宮旅行」と「帝都」の子どもたち

5 幼児・初等・中等教育

「保育」の戦後史——幼稚園・保育所の普及とその地域差

子どもの貧困と教師

——東京市万年小学校をめぐる苦悩と葛藤

戦後 夜間中学校の歴史

——学齢超過者の教育を受ける権利をめぐる

朝鮮人学校の子どもたち

——戦後在日朝鮮人教育行政の展開

障害児教育 [特別支援教育]

障害児 学童疎開資料集 [編集復刻版]

社会教育

動員される母親たち——戦時下における家庭教育振興政策

内科学

精神病者と私宅監置——近代日本精神医療史の基礎的研究

6 もうひとつの戦場——戦争のなかの精神障害者／市民

「治療の場所」の歴史——ベルギーの街ゲールと精神医療

近代日本 PTSD 関係史料集成 [編集復刻版]

衛生学・公衆衛生・予防医学

戦後民主主義が生んだ優生思想

——優生保護法の史的検証

ハンセン病絶対隔離政策と日本社会

——無らい県運動の研究

孤高のハンセン病医師——小笠原登「日記」を読む

「家族がハンセン病だった」——家族訴訟の証言

7 石炭

「黒い羽根」の戦後史——炭鉱合理化政策と失業問題

絵画

ニューヨークの日本人画家たち

——戦前期における芸術活動の足跡

日本文学

〈変態〉二十面相——もうひとつの近代日本精神史

増野悦興研究

埋もれたキリスト者の生涯と思想

●著=滝澤民夫

信仰の内面性を重視し、独自のキリスト教思想を探究した増野悦興（ましのよしおき）。その生涯と思想を描く。

▶推薦=室田保夫

612ページ／本体価格=8,000円+税
NDC198.321／各教派、教会史
2019年9月刊／ISBN978-4-86617-114-2



#増野悦興, 1865-1911 #新島襄, 1843-1890 #石井十次, 1865-1914 #キリスト教徒-日本

東日本大震災と被災・避難の生活記録

●編著=吉原直樹・仁平義明・松本行真

東日本大震災から4年。被災者の生活者としての様相を、さまざまな分野の研究者による28本の論考で描く〈モノグラフ=調査報告集〉!

776ページ／本体価格=8,000円+税
NDC369.31／社会福祉
2015年3月刊／ISBN978-4-86617-109-8



#東日本大震災(2011) #福島第一原発事故(2011) #災害復興-東北地方 #被災者支援-東北地方

治安維持法の「現場」

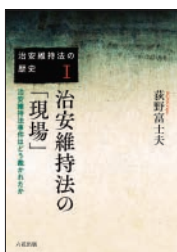
【治安維持法の歴史Ⅰ】

●著=荻野富士夫

特高警察、思想検察、裁判所、刑の執行と保護観察・予防拘禁、釈放——それぞれの現場で治安維持法がどう運用されたのかを明らかにする。

▶推薦=青木理

360ページ／本体価格=2,500円+税
NDC326.81／刑法、刑事法
2021年5月刊／ISBN978-4-86617-135-7



#治安維持法 #治安-日本-歴史-明治以後 #治安立法-日本-歴史-明治以後 #特別高等警察 #治安-法令

東日本大震災と〈復興〉の生活記録

●編著=吉原直樹・似田貝香門・松本行真

被災から6年。被災者が望む「心の復興」は進んでいるのか。29本の論考から災害後の実像にせまる〈モノグラフ〉集、第2弾!

780ページ／本体価格=8,000円+税
NDC369.31／社会福祉
2017年3月刊／ISBN978-4-86617-110-4



#東日本大震災(2011) #福島第一原発事故(2011) #災害復興-東北地方 #被災者支援-東北地方

監獄のなかの子どもたち

児童福祉史としての特別幼年監、感化教育、そして「携帯乳児」

●著=倉持史朗

非行や犯罪にかかわってしまった子どもたちのために特別幼年監や感化教育によって取り組んだ先駆者たちの挑戦!

▶推薦=木原活信

264ページ／本体価格=4,200円+税
NDC327.85／司法、訴訟手続法
2016年12月刊／ISBN978-4-86617-115-9



#少年教護-日本-歴史-明治時代 #児童福祉-日本-歴史-明治時代 #刑務所-日本-歴史-明治時代 #小河滋次郎, 1864-1925

東日本大震災と〈自立・支援〉の生活記録

●編著=吉原直樹・山川充夫・清水亮・松本行真

大災害から9年後の「いま」を刻み、記憶の彼方に埋もれさせないために! 28本の論文を収録した〈モノグラフ〉集、第3弾!

▶推薦=室崎益輝

854ページ／本体価格=8,000円+税
NDC369.31／社会福祉
2020年7月刊／ISBN978-4-86617-104-3



#東日本大震災(2011)-復興 #福島第一原発事故(2011)-復興 #災害復興

アクティブラーニングで学ぶ震災・復興学

放射線・原発・震災そして復興への道

●編著=庄司美樹・新里泰孝・橋本勝

東日本大震災という大災害を単に知識としてでなく、いかに自分の問題として考えるかを主体的に学ぶ!

184ページ／本体価格=1,500円+税
NDC369.3／社会福祉
2020年9月刊／ISBN978-4-86617-107-4



#災害復興 #震災復興 #災害 #都市計画 #被災者支援 #原子力災害 #産業災害 #スリーマイル島原発事故(1979) #チェルノブイリ原発事故(1986) #東海村臨界事故(1999) #福島第一原発事故(2011) #確率的安全評価 #原子力損害賠償措置 #原子力保険 #原子力 #アクティブラーニング #教授法 #探究学習

戦後日本の道徳教育の成立

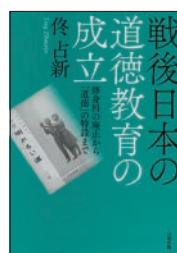
修身科の廃止から「道徳」の特設まで

●著=佟占新

近年の道徳の教科化をめぐる議論の原点ともいえる、1945年から1959年における道徳教育の成立過程を考察

▶推薦=倉石一郎

224ページ／本体価格=4,200円+税
NDC371.6／教育学、教育思想
2019年2月刊／ISBN978-4-86617-106-7



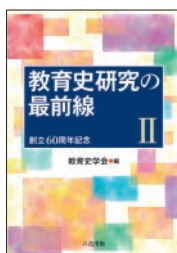
#道徳教育-日本-歴史-昭和後期 #天野貞祐, 1884-1980 #内藤誉三郎, 1912-1986 #科学研究費補助金(日本学術振興会)

教育史研究の最前線Ⅱ 創立60周年記念

● 編＝教育史学会

学会創立60周年の記念出版。気鋭の研究者25名による最新の教育史研究の動向や課題を提示する教育史研究の入門書第2弾

320ページ／本体価格＝2,500円＋税
NDC372／教育史・事情
2018年5月刊／ISBN978-4-86617-128-9



#教育-歴史

男女共学の成立 受容の多様性とジェンダー

● 編著＝小山静子・石岡洋

戦後民主主義のもとで推進された高等学校の男女共学化をジェンダーの視点から全国さまざまな地域において検証

336ページ／本体価格＝3,000円＋税
NDC374.2／学校経営・管理、学校保健
2021年6月刊／ISBN978-4-86617-141-8



#共学・別学 #高等学校-日本-歴史

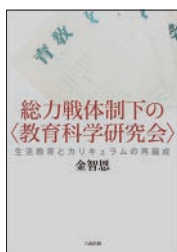
総力戦体制下の〈教育科学研究会〉 生活教育とカリキュラムの再編成

● 著＝金智恩

1930年代、子どものための教育とは何かを問うた教育科学研究会の理論の全容を解明する。

▶ 推薦＝大島宏

364ページ／本体価格＝4,800円＋税
NDC372.106／教育史・事情
2020年7月刊／ISBN978-4-86617-102-9



#日本-教育-歴史-昭和前期 #教育制度-日本-歴史-昭和前期 #教育科学研究会

「女教員」と「母性」 近代日本における〈職業と家庭の両立〉問題

● 著＝齋藤慶子

男性と同等に働く誇りと母性を強調されることの矛盾を抱える「女教員」の思いを丁寧に読み解く。

▶ 推薦＝小山静子

288ページ／本体価格＝4,400円＋税
NDC374.37／学校経営・管理、学校保健
2014年6月刊／ISBN978-4-86617-090-9



#女教員-日本-歴史-1868-1945 #女性労働-日本-歴史-明治以後 #ワークライフバランス

占領下沖縄の学校教育 沖縄の社会科成立過程にみる教育制度・教科書・教育課程

● 著＝萩原真美

占領初期におい最大の課題であった「復興」は、学校教育によっていかに成し遂げられたのか。

▶ 推薦＝藤澤健一

526ページ／本体価格＝8,000円＋税
NDC372.199／教育史・事情
2021年1月刊／ISBN978-4-86617-130-2



#教育制度-沖縄県-歴史-1945-1972 #公民教育-沖縄県-歴史-1945-1972 #歴史教育-沖縄県-歴史-1945-1972 #地理教育-沖縄県-歴史-1945-1972

戦後女性教員史 日教組婦人部の労働権確立運動と産休・育休の制度化過程

● 著＝跡部千慧

日本教職員組合婦人部の労働運動に着目し、1960年代70年代を中心に女性教員の運動の実像を明らかにする。

▶ 推薦＝井上恵美子

240ページ／本体価格＝4,800円＋税
NDC374.4／学校経営・管理、学校保健
2020年1月刊／ISBN978-4-86617-096-1



#女性教員-日本-歴史-1945- #日本教職員組合婦人部 #労働運動-日本-歴史-1945- #育児休業-歴史 #科学研究費補助金(日本学術振興会)

戦後教員養成改革と「教養教育」

● 著＝山崎奈々絵

戦後の教員養成改革の実態を、教養教育の変遷から丁寧に検証し描き出した労作

▶ 推薦＝船寄俊雄

290ページ／本体価格＝5,200円＋税
NDC373.7／教育政策、教育制度、教育行財政
2017年1月刊／ISBN978-4-86617-099-2



#教員養成-日本-歴史-1945-1952 #科学研究費補助金(日本学術振興会)

「伊勢参宮旅行」と「帝都」の子どもたち

● 著＝橋本萌

1930年代に東京市を中心に行われた伊勢神宮参拝を目的とした小学校児童の修学旅行(参宮旅行)の教育的意味を検証

▶ 推薦＝山田恵吾

340ページ／本体価格＝4,000円＋税
NDC374.5／学校経営・管理、学校保健
2020年7月刊／ISBN978-4-86617-101-2



#修学旅行-歴史 #伊勢参宮 #参詣 #伊勢信仰

「保育」の戦後史

幼稚園・保育所の普及とその地域差

◎著=松島のり子

より良い「保育」の機会をもたらすための保育施設の普及を考察!

▶推薦=湯川嘉津美

480ページ / 本体価格=6,000円+税
NDC376.121 / 幼児・初等・中等教育
2015年5月刊 / ISBN978-4-86617-131-9



#幼稚園-日本-歴史-昭和後期 #保育所-日本-歴史-昭和後期

障害児 学童疎開資料集

【編集復刻版】

◎編=松本昌介・飯塚希世・竹下忠彦・中村尚子・細淵富夫

◎解説=松本昌介・飯塚希世

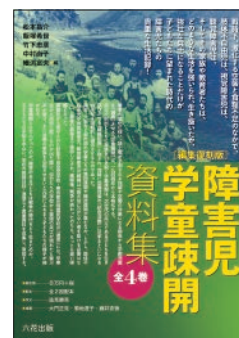
強壮な兵士になることだけが子どもたちに望まれた時代の障害児たちの貴重な生活記録!

- 第1巻 ● 光明学校Ⅰ (巻頭に序文=逸見勝亮、解説=松本昌介)
- 第2巻 ● 光明学校Ⅱ (巻末に機関誌類の総目次)
- 第3巻 ● 日誌・報告・通信ほか / 回想・研究Ⅰ (巻頭に解説=飯塚希世)
- 第4巻 ● 回想・研究Ⅱ

▶序文=逸見勝亮

▶推薦=大門正克・菊地澄子・藤井克徳

総約1,600ページ /
揃定価80,000円+税 (全2回配本)
NDC378.3 / 障害児教育 [特別支援教育]
第1回配本2017年5月刊
第2回配本2017年11月刊
ISBN978-4-86617-172-2



#光明学校(東京市立) #学童疎開

子どもの貧困と教師

東京市万年小学校をめぐる苦悩と葛藤

◎著=別役厚子

万年尋常小学校と坂本龍之輔の活動の実態を正面から探った、別役厚子の遺稿集!

▶推薦=堀尾輝久・寺崎昌男

408ページ / 本体価格=3,800円+税
NDC376.3 / 幼児・初等・中等教育
2019年2月刊 / ISBN978-4-86617-154-8



#坂本龍之輔, 1870-1942 #東京市万年尋常小学校

戦後 夜間中学校の歴史

学齢超過者の教育を受ける権利をめぐる

◎著=大多和雅絵

15歳を過ぎてもなお「学びなおしたい」生徒と、応援者たちを通じて、その歴史的経緯と意義を考察

▶推薦=勝野正章

368ページ / 本体価格=3,000円+税
NDC376.31 / 幼児・初等・中等教育
2017年6月刊 / ISBN978-4-86617-113-5



#夜間中学-歴史-1945-

動員される母親たち

戦時下における家庭教育振興政策

◎著=奥村典子

戦時下に母親たちを組織し「家庭教育」の振興が追求された。その実態を明らかにする。

▶推薦=清水康幸

298ページ / 本体価格=4,000円+税
NDC379.9 / 社会教育
2014年10月刊 / ISBN978-4-86617-098-5



#家庭教育-歴史 #太平洋戦争(1941-1945) #女性教育-日本-歴史-昭和前期 #教育と社会

朝鮮人学校の子どもたち

戦後在日朝鮮人教育行政の展開

◎著=松下佳弘

戦後、在日朝鮮人児童・生徒の教育を受ける権利は確保されていたのか。年代を追って変容する行政の対応を検証

▶推薦=水野直樹

488ページ / 本体価格=4,000円+税
NDC376.9 / 幼児・初等・中等教育
2020年10月刊 / ISBN978-4-86617-108-1



#朝鮮学校 #朝鮮人(日本在留) #教育行政-日本-歴史-昭和後期 #地方行政-日本-歴史-昭和後期

精神病患者と私宅監置

近代日本精神医療史の基礎的研究

◎著=橋本明

精神病患者の「私宅監置」の実証的研究により、患者・家族・地域社会の視点から精神病患者と看護者・地域・病院・行政の問題をとらえ直す。

240ページ / 本体価格=4,000円+税
NDC493.7 / 内科学
2011年12月刊 / ISBN978-4-905421-08-5



#精神医学-歴史 #科学研究費補助金(日本学術振興会)

もうひとつの戦場

戦争のなかの精神障害者／市民

● 編著＝岡田靖雄

● 著＝野田正彰・蟻塚亮二・中澤正夫

戦争が患者を追い詰めるだけでなく、市民を精神障害者に追い込んでゆくさまを歴史的事実を積み重ねながら立証する。

228ページ／本体価格＝1,800円＋税

NDC493.7／内科学

2019年7月刊／ISBN978-4-86617-139-5



#精神医学-日本-歴史-昭和前期

戦後民主主義が生んだ優生思想

優生保護法の史的検証

● 著＝藤野豊

公共の福祉の名のもとに「生まれては困る子ども」を産ませず、「子どもを持ってはいけない人」を峻別した優生保護法の歴史を解説する。

304ページ／本体価格＝1,800円＋税

NDC498.25／衛生学. 公衆衛生. 予防医学

2021年4月刊／ISBN978-4-86617-133-3



#優生保護法 #優生問題-日本-歴史-1945-

「治療の場所」の歴史

ベルギーの街ゲールと精神医療

● 著＝橋本明

精神病患者の「治療の場所」＝ゲールにおける家庭看護の歴史を再検討し、近未来の精神医療のあり方を探る。

280ページ／本体価格＝4,800円＋税

NDC493.7／内科学

2020年11月刊／ISBN978-4-86617-112-8



#精神医学-歴史-近代

ハンセン病絶対隔離政策と日本社会

無らい県運動の研究

● 編＝無らい県運動研究会

患者の人生を奪い、人権を踏みにじった「無らい県運動」の実態を明らかにし、現在も続く元患者やマイノリティへの差別構造を考える。

▶ 推薦＝神美知宏

320ページ／本体価格＝2,800円＋税

NDC498.6／衛生学. 公衆衛生. 予防医学

2014年5月刊／ISBN978-4-86617-143-2



#ハンセン病 #社会的差別-日本-歴史

近代日本PTSD関係史料集成

【編集復刻版】

● 編・解説＝サトウタツヤ

鉄道事故や災害など強烈な衝撃や強迫による心身の障害は、かつて「外傷性神経症」などとして扱われ、時に「詐病」扱いされる場合もあった。その実態を貴重資料によって明らかにする。

第1巻

鉄道現業員はどうして負傷するか ● 1914・6／鉄道病院療養所及治療所一覽大正十五年二月 ● 1926・2／災害医学講演集 ● 1927・10

第2巻

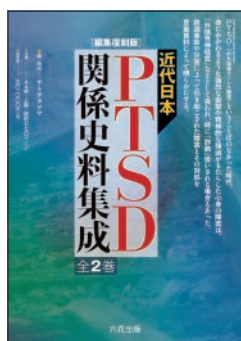
外傷性神経症調査委員会第一回報告 ● 1927・3／健康保険と詐病及外傷性神経症全 ● 1932・3／傷痍者職能判定委員会資料（第四回） ● 1953・3／鉄道療養所に於ける傷痍者の指導 ● 1953・8／国鉄傷痍者の実態 ● 1955・3ほか

▶ 推薦＝橋本明・佐藤雅浩・森茂起

総約770ページ／本体価格＝70,000円＋税

NDC493.743／内科学

2019年5月刊／ISBN978-4-86617-105-0



#心的外傷後ストレス障害 #不安障害 #心的外傷 #ストレス #EMDR

孤高のハンセン病医師

小笠原登「日記」を読む

● 著＝藤野豊

絶対隔離政策のもとで、自らの医学的知見にしたがって、療養所外での自宅治療・通院治療を敢行した医師・小笠原登の思想と実践を検証

▶ 推薦＝和泉真蔵・小川文昭

224ページ／本体価格＝1,800円＋税

NDC498.6／衛生学. 公衆衛生. 予防医学

2016年3月刊／ISBN978-4-86617-137-1



#ハンセン病 #小笠原登, 1888-1970

「家族がハンセン病だった」

家族訴訟の証言

● 編＝ハンセン病家族訴訟弁護団

患者家族もまた隔離政策の被害者だった。家族への被害実態を明らかにする、裁判の経過報告と意見陳述

▶ 推薦＝森和男

312ページ／本体価格＝1,800円＋税

NDC498.6／衛生学. 公衆衛生. 予防医学

2018年5月刊／ISBN978-4-86617-142-5



#皮膚抗酸菌感染症 #ハンセン病療養所 #行政訴訟-日本 #社会的差別-日本

「黒い羽根」の戦後史

炭鉱合理化政策と失業問題

●著＝藤野豊

国策に翻弄され悲惨な生活を強いられた炭鉱労働者と家族に対して、世論を動かし、炭鉱離職者臨時措置法を成立させるまでの15年を踏査

360ページ／本体価格＝2,800円＋税

NDC567.0921 / 石炭

2019年9月刊／ISBN978-4-86617-136-4



#石炭鉱業-日本-歴史-昭和後期 #失業-日本-歴史-昭和後期 #昭和天皇, 1901-1989 #筑豊炭田 #黒い羽根運動

ニューヨークの日本人画家たち

戦前期における芸術活動の足跡

●著＝佐藤麻衣

移民としてニューヨークへ渡った画家たちの異郷の地での創作活動の意義と作品の背景を明らかにする。

270ページ／本体価格＝2,800円＋税

NDC720.3 / 絵画

2021年7月刊／ISBN978-4-86617-153-1



#画家-日本-歴史-大正時代 #画家-日本-歴史-昭和前期 #日本人(ニューヨーク州在留)-歴史 #石垣栄太郎, 1893-1958

〈変態〉二十面相

もうひとつの近代日本精神史

●編＝竹内瑞穂＋「メタモ研究会」

近代日本に現れた〈変態〉概念を解き明かす！

▶推薦＝斎藤光

224ページ／本体価格＝1,800円＋税

NDC910.3 / 日本文学

2016年9月刊／ISBN978-4-86617-138-8



#日本文学-歴史-明治以後 #日本思想-歴史-明治以後 #異常心理学異常性欲 #江戸川乱歩, 1894-1965 #梅原北明, 1901-1946 #呉秀三, 1865-1932 #森田正馬, 1874-1938 #小龍虎之助, 1888-1978 #中村古婁, 1881-1952 殻 #谷崎潤一郎, 1886-1965 #田中守平, 1884-1929 #渡邊藤次, 1885-1975 #綿貫六助, 1880-1946 #木々高太郎, 1897-1969 折蘆 #三島由紀夫, 1925-1970 #阿部定, 1905- #熊沢寛道, 1889-1966



六花出版

Rikka Press

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-28

電話 03-3293-8787 FAX 03-3293-8788

E-mail : info@rikka-press.jp

<https://rikka-press.jp>

